

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
利益配当金の株主確定日	毎年3月31日
基準日	毎年3月31日 上記の他必要がある場合は予め公告して臨時に基準日を設けることがあります。
定時株主総会	毎年6月
公告掲載新聞	東京都内で発行する日本経済新聞
IR情報掲載URL	http://www.ensuiko.co.jp/iridx.htm
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲1丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所等	

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話でのお問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払(※)、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取(・買増)以外の株式売買は出来ません。


※未払配当金の支払のみ、みずほ銀行 全国本支店でもお取扱いたします。

第79期 中間報告書

平成23年4月1日 ▶ 平成23年9月30日




「オリゴのおかけ」を使った
「アレンジアイス・ココア&抹茶ソース」
※詳しいレシピは、ホームページ「オリゴのおかけレシピ集」でご覧いただけます。
http://www.oligo.jp/club/recipe_winter.html

 塩水港精糖株式会社

ホームページアドレス

<http://www.ensuiko.co.jp/>

 塩水港精糖株式会社

証券コードNo.2112

Contents

株主の皆様へ	2
中間（第2四半期）連結財務諸表の概要	7
中間（第2四半期）財務諸表の概要	9
会社概要	11
PR	13

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、有難く厚く御礼申しあげます。

また、この度の東日本大震災により被災された皆様にご心よりお見舞い申しあげます。

当社は食品メーカーとして、砂糖事業並びに糖質ファインケミカル事業において、常に最新技術による製品の開発・製造に取り組み、企業価値の創造と増大に努めて参ります。

また、高品質で安全な製品を安定的に提供することを通じて、健康で豊かな食生活に貢献し、株主の皆様を始めとする各ステークホルダーのご期待に応える企業を目指して参ります。

さて、当社第79期上半期（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）決算を終了いたしましたので、営業の概況につきご報告申しあげます。

1 事業の経過及びその成果

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、長引くデフレに加え、東日本大震災の影響による厳しい状況から個人消費に持ち直す動きが見られるものの、世界的な景気減速懸念や円高の長期化等の要因により先行き不透明な状況で推移しました。

当第2四半期連結累計期間の海外原糖市況は、期初27.44セント（ニューヨーク市場粗糖先物相場（期近限月の引け値、1ポンド当たり。）以下同じ。）で始まりましたが、2011/12砂糖年度における世界砂糖需給が大幅な供給過剰になるという予想から5月上旬に20.40セントまで下落しました。しかしその後、大幅な増産が予想されていた主要生産国ブラジルの産



取締役社長 浅倉 三男

糖量が下方修正されたため、8月には当期間最高値の31.85セントまで値を上げました。9月に入ると、欧州の一部の国々の金融不安が深刻化し、世界的な景気低迷によるリスク回避から商品全般に調整が入る中、結局26.34セントで当第2四半期連結累計期間を終了しました。

国内精糖市況につきましては、東京市場現物相場（日本経済新聞掲載、上白糖大袋1kg当たり。）は期初189～190円で始まりましたが、海外原糖相場の下落を受け、7月末に4円下げ185～186円となり、そのまま第2四半期連結累計期間を終了しました。

かかる状況の中、当社グループは高品質で安心、安全な製品の安定供給を第一義とし、顧客満足度を一層高めるとともに、価格競争力の一層の向上に努めましたが、原材料価格の上昇から製造コストが増加したことにより、営業利益、経常利益ともに前年同四半期を下回りました。

以上のほか、保有有価証券の時価下落に伴い、1,789百万円の特別損失を計上しております。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

当第2四半期 連結累計期間	金額 (百万円)	前年同四半期比
売上高	15,454	9.5%増
営業利益	473	37.1%減
経常利益	677	27.1%減
四半期純損失	580	※ ー%

※前年同四半期は622百万円の利益であります。

また、セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

当第2四半期 連結累計期間	売上高 (百万円)	前年同 四半期比	セグメント利益 または損失(△) (百万円)	前年同 四半期比
砂糖事業	14,272	10.3%増	883	28.0%減
バイオ事業	744	1.5%増	64	※ ー%
不動産賃貸事業	437	0.7%増	56	16.3%減
調整額	—	—	△531	—
連結損益計算書計上額	15,454	9.5%増	473	37.1%減

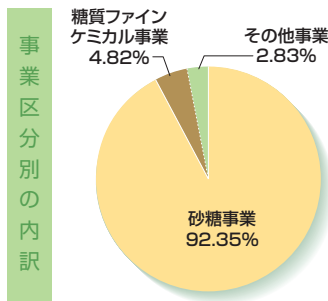
(注) セグメント利益の調整額△531百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△531百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

※前年同四半期は28百万円の損失であります。

①砂糖事業

販売数量につきましては、4～6月期は夏場の電力不足懸念に起因したユーザーの前倒し生産による需要増があり前年同期を上回りましたが、7～9月期は節電によるユーザーの生産調整もあり、結局、4～9月期では前年同四半期を下回りました。

売上高につきましては、当第2四半期連結累計期間は国内販売価格水準の上昇に伴い前年同四半期を上回りました。また、セグメント利益につきましては、工場の連続操業や節電などに取り組みコスト削減に努めましたが、原材料価格の上昇等から製造コストが増加し、前年同四半期を下回りました。



②バイオ事業

・オリゴ糖

家庭用は「オリゴのおかげ」の拡販を中心にブランド浸透に努めました。

業務用は、本年4月1日をもって家庭用と同じ「オリゴのおかげ」ブランドに統一し、ユーザーへの新規採用に向けた営業に取り組みました。

以上により、オリゴ糖売上高は、家庭用、業務用ともに前年同四半期を上回りました。

・サイクロデキストリン（CDと略称。）

飲料、健康食品などの食品分野を中心に、ユーザーの新規採用に向けた販促に努めました。また、メタボリックシンドローム対応の機能素材の「サラシア属植物エキス末」の販促に取り組みました。

以上により、CD売上高は前年同四半期とほぼ同じとなりました。

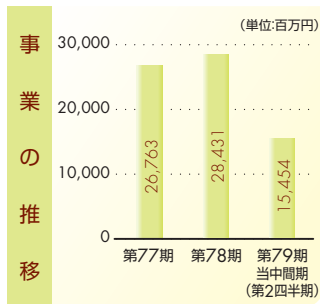
③不動産賃貸事業

関西製糖株式会社への大阪工場設備の賃貸、ニューE S Rビル事務所の一部賃貸等を行い、所有不動産の活用に努めました。

研究開発につきましては、乳糖果糖オリゴ糖がインフルエンザ感染予防や感染後の症状軽減に効果があることを明らかにし、特許を出願いたしました。グルクロン酸の新製法に関しては、新規工業的生産技術のノウハウにつき継続して第三者への貸与等に努めました。また、抗がん剤「糖修飾パクリタキセル」をリポソームに包み込み、副作用を大幅に軽減し得る「がんミサイル療法」に関しては、引き続き実用化を目指して研究開発を精力的に進めました。

また、農林水産省からの研究委託事業として取り組んでいる、米粉を原料とした乳化機能を有する食品素材の開発につきましては、前期と同様に計画通りに研究成果をあげました。

バイオ製品（オリゴ糖、CDなど。）につきましては、一層の製造コストの低減と品質の向上に取り組むとともに、新たな機能の探索に努めました。



② 対処すべき課題

当連結会計年度の見通しといたしましては、わが国経済は、一部に景気持ち直しの動きが見られるものの、長引く円高とデフレ、世界的な景気減速懸念等から個人消費は伸び悩み、先行き予断を許さない状況が続くものと思われまます。

わが国の砂糖業界は、ここ10年、資本提携、共同生

産の実施等によりコスト競争力の強化に取り組み、一定の成果をあげてまいりましたが、海外粗糖相場の高騰、砂糖需要の低迷、加糖調製品の恒常的な輸入増加等により販売競争は激化し、引き続き厳しい状況にあります。

かかる状況を踏まえ、当社は当社グループ全体の視点から、砂糖事業の効率化と競争力の強化を図る諸施策を検討・実施し、国内外の変化へ適切に対応してまいります。

一方、販売面では、流通業界の再編が加速する状況の下、当社は当社総発売元の株式会社パールエースと生産・販売一体となって事業を推進し、取引先との一層の信頼強化に努めてまいります。

また、製造面では、共同生産会社である太平洋製糖株式会社（横浜市）及び関西製糖株式会社（大阪府泉佐野市）において、製品の一層の安全性と品質向上並びにコスト低減に努めてまいります。

当社は、資本提携先である三菱商事株式会社を通じて海外原料糖を安定的にかつ効率的に調達し、製造コストの圧縮に努めております。また、当社はレベルの高い製造・販売競争が展開される状況下で、人的競争力の強化に全力を挙げて取り組んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 中間（第2四半期）連結貸借対照表（平成23年9月30日現在）（単位：百万円）

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
流動資産	7,106	流動負債	11,013
現金及び預金	1,119	支払手形及び買掛金	1,096
受取手形及び売掛金	1,615	短期借入金	8,755
たな卸資産	2,870	未払法人税等	38
繰延税金資産	414	未払消費税等	72
その他	1,085	賞与引当金	67
		その他	983
固定資産	19,336	固定負債	9,933
有形固定資産	12,021	長期借入金	8,212
建物及び構築物	4,752	退職給付引当金	1,240
機械装置及び運搬具	1,955	役員退職慰労引当金	230
工具器具及び備品	52	その他	249
土地	5,190	負債合計	20,946
建設仮勘定	70	【純資産の部】	
無形固定資産	108	株主資本	5,606
投資その他の資産	7,206	資本金	1,750
投資有価証券	4,692	資本剰余金	266
長期貸付金	1,322	利益剰余金	6,706
繰延税金資産	1,099	自己株式	△ 3,116
その他	90	その他の包括利益累計額	△ 111
		その他有価証券評価差額金	△ 57
		繰延ヘッジ損益	△ 53
資産合計	26,442	純資産合計	5,495
		負債・純資産合計	26,442

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

● 中間（第2四半期）連結損益計算書（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）（単位：百万円）

科目	金額
売上高	15,454
売上原価	13,172
売上総利益	2,282
販売費及び一般管理費	1,809
営業利益	473
営業外収益	306
受取利息及び配当金	150
持分法による投資利益	112
デリバティブ利益	5
その他	38
営業外費用	102
支払利息	93
支払手数料	3
その他	5
経常利益	677
特別利益	56
投資有価証券売却益	56
特別損失	1,789
投資有価証券評価損	1,789
税金等調整前四半期純損失	1,055
法人税、住民税及び事業税	35
法人税等調整額	△ 510
四半期純損失	580

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

● 中間（第2四半期）貸借対照表 （平成23年9月30日現在） （単位：百万円）

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
流動資産	7,345	流動負債	10,495
現金及び預金	1,009	買掛金	659
受取手形及び売掛金	1,982	短期借入金	8,755
たな卸資産	2,750	未払金	739
繰延税金資産	566	賞与引当金	43
短期貸付金	825	その他	298
その他	211	固定負債	10,340
固定資産	18,817	長期借入金	8,212
有形固定資産	10,925	退職給付引当金	1,240
建物	3,945	役員退職慰労引当金	172
構築物	528	その他	714
機械及び装置	1,941	負債合計	20,836
土地	4,383	【純資産の部】	
その他	127	株主資本	5,350
無形固定資産	105	資本金	1,750
投資その他の資産	7,786	資本剰余金	345
投資有価証券	1,950	利益剰余金	6,311
関係会社株式	2,559	利益準備金	282
長期貸付金	1,974	その他利益剰余金	6,029
繰延税金資産	1,215	別途積立金	2,930
その他	86	繰越利益剰余金	3,099
資産合計	26,162	自己株式	△ 3,056
		評価・換算差額等	△ 23
		その他有価証券評価差額金	△ 9
		繰延ヘッジ損益	△ 14
		純資産合計	5,326
		負債・純資産合計	26,162

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

● 中間（第2四半期）損益計算書 （平成23年4月1日から平成23年9月30日まで） （単位：百万円）

科目	金額
売上高	10,909
売上原価	8,780
売上総利益	2,129
販売費及び一般管理費	1,705
営業利益	424
営業外収益	162
営業外費用	100
経常利益	486
特別利益	56
特別損失	1,789
税引前四半期純損失	1,246
法人税、住民税及び事業税	△ 0
法人税等調整額	△ 506
四半期純損失	739

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

会社概要 (平成23年9月30日現在)

商号	塩水港精糖株式会社 ENSUIKO SUGAR REFINING CO.,LTD.
本社	東京都中央区日本橋堀留町二丁目9番6号 03-3249-2381(代)
創立	明治36年12月
設立	昭和25年 7月
資本金	17億5,000万円
従業員数	100名
事業所	糖質研究所 関西営業所 工場／横浜共同生産工場（太平洋製糖㈱） 大阪共同生産工場（関西製糖㈱）
関係会社	(株)パールエース、(株)おかげさま、 太平洋製糖㈱、関西製糖㈱、南西糖業㈱、 (株)ナルミヤ ※株式会社イーエスは、平成23年1月4日をもって当社に 吸収合併いたしました。
株式市場	東京証券取引所市場2部
主要商品	精製糖（グラニュー糖、上白糖、三温糖、液糖他） 乳糖果糖オリゴ糖（オリゴのおかげ、オリゴのおか げダブルサポート） サイクロデキストリン（デキシーパール、イソエリー ト、デキシーエース他）

取締役及び監査役

取締役会長	久野 修慈	取締役	山下 裕司
*取締役社長	浅倉 三男	取締役	神崎 俊
専務取締役	藤縄 賢一	取締役	佐藤 裕
専務取締役	白石 健二	取締役	毛利 保弘
常務取締役	安戸久仁彦	常勤監査役	田村 順一
常務取締役	黒田 一晴	常勤監査役	多田 啓一
取締役	藤田 孝輝	監査役	神宮 壽雄

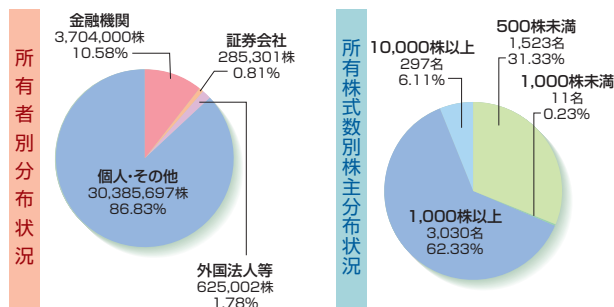
*は代表取締役です。

株式の状況

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	35,000,000株 (自己株式7,890,111株を含む。)
当第2四半期末株主数	4,861名
大株主	

株主名	持株数	持株比率
三菱商事株式会社	8,400 ^{千株}	30.99 [%]
株式会社みずほコーポレート銀行	1,495	5.51
三菱UFJ信託銀行株式会社	603	2.22
株式会社榎本武平商店	550	2.03
大東通商株式会社	500	1.84
南西糖業株式会社	500	1.84
クレディスイスルクセンブルグ エスエーオンビハーフオプクライエンツ	468	1.73
株式会社みずほ銀行	451	1.66
村上真之助	390	1.44
株式会社損害保険ジャパン	340	1.25

(注) 持株比率は自己株式(7,890,111株)を控除して計算しております。





乳糖果糖オリゴ糖
PREBIOTICS
プレバイオティクス食品

単なる低カロリーの甘味料では
ありません!

健康管理に欠かせない

ビフィズス菌を増やす

プレバイオティクス*食品です。

家庭用「オリゴ糖」
シェアNo.1!

実際に使って効果を実感していただいた、
多くの方に長年支持されています。

ビフィズス菌を増やす!

自分自身のビフィズス菌を増やし、
おなかの調子を整えます。

トクホ!



消費者庁許可
特定保健用食品



毎日、ティースプーン2杯がポイント!!

毎日続けることで腸内環境を整えます。
1日にティースプーン2~5杯を目安に、
おなかの調子に合わせてご使用下さい。

おいしい甘さ!!

自然でクセのない、
おいしい甘さが特長です。

カロリーは
お砂糖の約半分!!

カロリー約半分!
液体なので塗ったり、かけたりして
お使いください。

自然素材!

サトウキビからできたお砂糖と、
牛乳に含まれる乳糖から作られた
食品です。

※プレバイオティクスとは…

人の腸内に常在する有用菌を増殖させたり、
有害な細菌の増殖を抑制することで、有益な
効果をもたらす難消化性食品成分です。

(300gボトルは、お1人で約1ヶ月分)

<http://www.oligo.jp>